

吉野学園 MUKU 支援プログラム

営業時間	火曜日～土曜日	9時～17時まで	送迎実施の有無	あり	なし
法人理念	ご利用者に安らぎと幸せを 職員は真心と向上を				
支援方針	○個々に評価を行い、計画を立て、一人一人に応じた支援を実施していきます。 ○成功体験を積み上げ、「やった！できる」という自信を育て、挑戦する力をつけて頂きます。				
特徴	○子ども一人に対してスタッフ1名以上の対応での個別療育を行っています。 ○療育時間は1回1時間であり、利用頻度は月2回または月1回の利用となっています。				
支援内容					
本人支援	健康・生活	○身辺自立、家事活動などに取り組んでいます。 例：身辺自立・・・排泄、洗顔、身体洗い、衣類の着脱、ボタン、ファスナー、爪切り、髪の毛をくくるなど 家事活動・・・洗濯干し、たたみ、机拭き、掃除機をかける、食器洗い、お米洗い シーツつけなど			
	運動・感覚	○ビジョントレーニングを行っています。 ○微細運動(運筆、はさみ、お箸、スプーンの使用、ボタンやファスナーの取り外しなど)の取り組みを行っています。 ○バランスボールやトランポリンを使って、体幹の強化やバランス感覚、姿勢保持の取り組みを行っています。 ○時間感覚やスピード力の調整への取り組みを行っています。			
	認知・行動	○認知発達の向上や行動コントロールの為の様々な課題に取り組んでいます。 例：スケジュール、カレンダー、読み書き、数の概念、電卓の活用、お金や時間の理解、視覚認知、自己認知(感情認知)、感情コントロール、人の気持ちや状況の読み取り、行動の結果予測、場面の対処、診察に向けての取り組みなど			
	言語 コミュニケーション	○人とやり取りすることへの意欲を育て、自発的な関わりを言語以外の手段(代替コミュニケーション)の獲得への取り組みを行っています。 例：アイコンタクト、指差し、非言語コミュニケーション、理解言語、表出言語、援助要求、会話など			
	人間関係・社会性	○他者により良い関係を築くための課題を行っています。 例：あいさつ、聞く、待つ、ゲームのルール理解、順番交代、勝ち負け、質問への応答、自己認知、他者理解、人との距離感など			
	地域支援・地域連携 (地域交流・県外活動)	○自立支援協議会、療育部会に参加しています。 ○保育士を目指す学生の実習を受け入れています。 ○幼保、学校の先生や関係機関との情報共有や連携を行っています。			
移行支援	○児童の所属先の先生や関係機関と連携を行っています。 ○進路選択や将来について考える機会を設けています。				
家族支援	○療育でのスタッフの関わりを見てもらいながら、発達特性の気づきにつなげ、ご家庭での関わりや取り組みを一緒に考え、相談に対する助言をしています。 ○家庭での取り組みの為に具体的なツールの提示を行い、ご家庭でのヒントにつながるようになっています。				
職員の質の向上	○法人研修 ○外部研修(必要に応じて) ○オンザジョブトレーニング				
主な行事等	特にありません				